



慶應義塾大学ビジネス・スクール

メンタリング・プログラムと企業 (4)

5

「組織の中でキャリアを歩む人は、その途上で遭遇する様々なキャリア上の課題に対し、“人との関係性”によって対処することができる。将来の幹部候補生としてのキャリアを順調に歩んでいる若者には、経験を積んだシニア・マネジャーによる支援が必要である。これ以上の出世が望めない段階（キャリア・プラトー）にさしかかった中年期の人、同じような困難に直面している友人と経験を分かち合うことによって、組織人としての宿命をどのように受け止めていったらよいかを学ぶ。これまで女性があまり進出してこなかった仕事でキャリアを追求している女性の専門家は、先輩でより経験の深い女性と語り合うことで自らのキャリアのモデルとなる生き方を見つけ、心の安らぎを得る。定年退職を間近に控えた人は、自分より若くて経験の少ない、組織の今後を担う若者に自らの知識や経験を伝えることによって満足と尊厳の感覚を得る。」 — Kathy Kram, 1985 *Mentoring at Work* (渡辺・伊藤訳 2003『メンタリング：会社の中の発達支援関係』白桃書房) より

10

15

「私はデラウェアのすべての子どもに成功して欲しいと思っています。私たちの州デラウェアに住む学生・生徒・児童のうち、ある人たちは家庭において必要な励ましや注目を受けておりません。政府だけでなく、私たちデラウェアに住む人々は、それに対して何かができます。私は、成熟した大人である皆さんにデラウェア中の学校や、危機的状況にある若者とともにあるメンターとなっていただき、私とともに活動していただくことをお願いいたします。どうか、それを必要としている子どもたちのために、メンターとして、私の推進する運動に参加してください。」 — デラウェア州知事 トム・カーパー (<http://www.delawarementoring.org>)

20

25

本ケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクールの渡辺直登教授、D15期生の佐野達君ならびにM24期生の中島薫君によって作成された。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 渡辺直登、佐野達、中島薫（2011年6月作成）